

令和6年度 新川みどり野高校 年間指導計画(シラバス)

学科	教科	科目(講座名)	対象学年	単位数	教科書	使用教材	
普通科・福祉教養科	家庭	家庭基礎	全	2	未来へつなぐ家庭基礎365(教育図書)	未来へつなぐ家庭基礎365マスターノート(教育図書)	
<p>学習の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費・環境についての基本的・科学的な知識の獲得・理解と技能を習得できる。</li> <li>・生活の中から問題を見出して課題を解決し、過程や結果を表現できる。</li> <li>・家族や地域の人と協働し、より良い生活の実現に向けて生活を工夫、創造することができる。</li> </ul>							
学期	月	単元	学習内容		到達度目標(学習のねらい)		
前期	4月	生涯の生活設計1	あなたの将来どうする？		・これからの自分の人生について考えることができる。		
		青年期の自立と家族・家庭	自立への一歩を踏み出そう 家族・家庭って何？ 将来の自分と家庭を想像する		・将来の職業について見通しを持ち、パートナーとの関係について考えることができる。 ・家庭のもつ機能や法律の中での家族を理解する。 ・ワーク・ライフ・バランスの重要性を理解する。		
	5月	子どもの生活と保育	子どもはどのように生まれる？ 子どもとどうかわかる？ これからの子育てとは？		・乳幼児期の心身の発達の特徴を理解する。 ・乳幼児の成長や自立に親や家族の関わり方や家庭生活が果たす役割の重要性を理解する。 ・様々な子育て支援の対策を理解する。 ・子どもの権利を守る法律について理解する。		
	6月	高齢期の生活と福祉	高齢期ってどういう時期？ 高齢化する日本を生きる		・高齢期の心身の変化や認知症について理解する。 ・高齢社会の課題や高齢者を支える仕組みを理解する。		
		共生社会と福祉	共生って何だろう？ ノーマライゼーションとは		・共生社会の中で、一生を通じた福祉や社会的支援の必要性を考えることができる。 ・社会保障制度、公的年金制度について理解する。		
	7月	衣生活と健康	衣服の役割って何だろう？ 衣服はどうやってつくられている？ 衣服の計画・管理を知ろう。 今後の衣生活を考えよう		・衣服の機能、ライフステージや目的に応じた着用について理解する。 ・被服材料の特徴について理解する。 ・衣服の入手や手入れ、廃棄までを考えた衣生活を計画できる。 ・衣生活と環境の関わりについて理解する。		
		9月	ホームプロジェクト 学校家庭クラブ活動	ホームプロジェクトの進め方と計画 ホームプロジェクトの実践報告 学校家庭クラブ活動の実践		・ホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動を通して、生活上の課題を設定し、解決に向けて生活を科学的に探究したり、創造したりすることができる。	
	後期	10月	食生活と健康	なぜごはんを食べるの？ 私たちは何を食べているの？ 安全に食べよう 健康に食べよう (日常食の調理実習) おいしく食べよう これからも食事を楽しむために		・食事の役割を理解する。 ・五大栄養素と多く含む食品の特徴を理解する。 ・食品の安全管理について理解する。 ・自分や家族のための献立を作成することができる。 ・日常食の調理に必要な基本操作を身に付ける。 ・テーブルコーディネートの役割を理解する。 ・日本の食文化の特徴や食生活と環境との関わりについて理解する。	
		11月	住生活と住環境	どのような家に住みたい？ 安全に住もう 快適に住もう 住まいの課題と未来の暮らし		・住まいの役割について理解する。 ・災害に対する備え、家庭内事故や犯罪の予防を考えることができる。 ・快適な住まい方について考えることができる。 ・持続可能な住まい方を考えることができる。	
12月		生活における経済の計画	将来に向けて家計を考えよう 何をどうやって買う？ かしこい消費者になろう		・ライフステージを見通した経済計画を考える。 ・契約の重要性、消費者信用の仕組みを理解する。 ・消費者保護の仕組みを理解し、消費者の権利と責任を意識した消費行動を心がけることができる。		
1月		消費生活と意思決定	将来に向けて家計を考えよう 何をどうやって買う？ かしこい消費者になろう		・ライフステージを見通した経済計画を考える。 ・契約の重要性、消費者信用の仕組みを理解する。 ・消費者保護の仕組みを理解し、消費者の権利と責任を意識した消費行動を心がけることができる。		
		持続可能なライフスタイルと環境	未来の地球環境は大丈夫？ 私たちにできることは何だろうか？		・暮らしと環境の関わりや環境問題について理解する。 ・持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費について考え、ライフスタイルを工夫することができる。		
2月		生涯の生活設計2	自分の人生を豊かにしよう		・家庭科で学んだことを自分の目指すライフスタイルの実現に役立てることができる。		